

高齢者施設の服薬簡素化の概要

理由1 誤薬・医療安全



服薬回数が多いと誤薬事故
が起こりやすくなる。

理由2 本人の負担



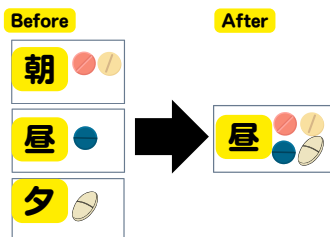
服薬回数が多いと本人
の負担が大きくなる。

理由3 職員の負担



服薬回数が多いと
職員の負担が増える。

服薬回数を減らすメリット



服薬回数を減らすことで、服薬ミスを減らせる
ため、医療安全的にメリットとなる。また本人
及び職員の負担を減らすことができる。



注意すべき点

すべての処方服が服薬回数を減らせるわけではない。
服薬回数を変更できないものも多くある。
必ず医師・歯科医師や薬剤師の指示で実施する。



実施のポイント

円滑に進めるために服薬簡素化フローチャート
を参考にしながら多職種で実施する。